

各部の手入れ・メンテナンス方法

①ガラスのクリーニング

1) 展示ケース正面のガラスのクリーニング

本展示ケースの正面ガラスには、両面に低反射フィルムを貼っています。
長期間機能を保つためによく清掃し、汚れを除去してください。

1. 日々のメンテナンス

- ◇きれいなウエス
- ◇マイクロファイバーウエス

- ・指紋や油汚れは**乾拭き**してください。
- ・とれない場合には、ウエスに水を含ませて固く絞り、拭いてください。
- ・さらに強い汚れの場合は、アルコールを染み込ませたウエスで軽く拭いてください。

2. クリーニング

〈方法〉

- ◇ **中性洗剤** (水で薄めて使用)
- ◇ 柔らかい布やスポンジ等

- ・中性洗剤のご使用をお勧めします。
- ・ガラス全体に洗剤をつけてから、きれいな柔らかい布、スポンジ等で洗浄ください。
- ・清掃開始前に、砂塵や微細な固形物がガラス面と清掃用具の間に挟まれないよう、除去してください。

〈クリーニング上の注意点〉

- ・**研磨剤**を含んだ洗剤や**酸**、**アルカリ**度の強い洗剤のご使用はお避け下さい。
- また、**撥水性**(ワックス・コート剤等)の成分が入った洗剤のご使用もお避け下さい。
- ・決して強くこすらないでください。
- ・スキージ本体の金属部分(裏面の金具、特にエッジ部分やボルト)が接触しないよう注意してください。

〈取り扱い上の注意〉

- ・ステッカー等は、剥がす際に低反射膜を傷つける可能性がありますので、貼らないでください。

★ガラス小口のATパッキングが取り付けしている部位やガラス目地部分は布等で擦らないでください。
(コーキングを使用していますので、より汚れの付着や傷みを促進させる恐れがあります。)

2) 熱切ガラスの清掃

上部照明ボックス部の熱切ガラスの清掃は、乾燥した柔らかい布(マイクロファイバーウエス等)で拭くか、部分的に手の油分等を落とす場合には中性のガラスクリーナーを使用してください。

★ガラスジョイント部や端部は布等で擦らないでください。
(コーキングを使用していますので、汚れの付着や傷みを促進させる恐れがあります。)